



国総研資料第 1302 号「日本沿岸の主要港湾における 高潮・波浪への気候変動の影響評価」を刊行します

気候変動適応策としての港湾施設設計や港湾における将来の浸水リスク評価のためには、高潮や高波の将来変化を予測する必要があります。そこで、日本沿岸の商用港湾における潮位偏差および波高について、現在の設計値に対する将来変化比を評価するための参考として、再現期間に応じた将来変化比を算出しました。本研究の成果の潮位偏差および波高の将来変化比は、将来の気候変動の影響を踏まえた港湾施設を設計する際に活用できます。

<目次>

- 第 1 章 まえがき
- 第 2 章 将来変化比の算定手法
- 第 3 章 潮位偏差の将来変化予測
- 第 4 章 波高の将来変化予測
- 第 5 章 まとめ
- 第 6 章 あとがき

- 付録 A / B 対象港湾と検証等に用いた観測地点 / 沖波・準沖波の設定地点
- 付録 C / D 対象海域の高潮解析 / 波浪解析における解析領域
- 付録 E / F 潮位偏差 / 波高の港湾毎の将来変化予測の詳細結果
- 付録 G 潮位偏差の代表地点毎の極値統計解析結果
- 付録 H / I 潮位偏差 / 波高の将来変化予測の平面分布

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <https://www.y.sk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1302.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室

室長 本多 和彦 (内線 : 3220)

TEL : 046-844-5019 E-mail : ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp